

Titibu372

秩父平成4年10月 37号

中国旅行雑感 通化—北京



川島 順

60期21-7
(越谷市)

9月8日より10日間、長春通化会（航空1次渡満組）のグループに誘われて、大連—瀋陽（奉天）—通化—長春（新京）—北京と長旅を行った。

そもそもこの旅行は、渡満組が戦争末期最終的に集結した通化飛行場をいま一度訪ねたいと企画されたもので、我々ビジターを含めて総勢17名。訪問記の詳細は渡満組に譲ることにして小生は旅行中の思い出や特に強く印象を受けたことを書き止めようと思う。

近代化のはしり

第1印象は古いものと新しいものが混在しながら中国は急速に近代化の道を突進んでいる事が実感された。今回の旅は中国の東北地方（旧満洲）が中心であったので可なり文化の差を覚悟して山間僻地にでも行く積りであれこれ用意をしていったが、意外にもいずれの地域でも町には活気が溢れ、品物も豊富で食糧品、日用品についてはま

ず不便を感じない程度に充足されていた。しかしいずれの都会でも近代的高層ビルの間には、古い煉瓦造りのくすぶった住宅がとり残され、闇市的な自由市場が果物、食料品、雑貨品はては取壊した住宅の部品等のガラクタまで並べて雑然と店をはっている。

新略字

次に目に付くことは大小様々の看板が町の至る所に掲げられている。中国の最近の解放政策によって、われもわれもと商売を始めた感じ。特に自動車の部品、家電製品の店が目立つ。しかし、看板の字は中国の新略字が多く、なかなか解読できない。観光バスの中から、まるでクイズのようにワイワイ言いながら当てっこするのもまた楽しい。まず、地名「瀋陽」は沈阳、沈は瀋と発音が同じなのだろう。

ところが陽は略し過ぎだ。辽宁省（遼寧省）は読めますか。杂货貨（雑貨）、邮局（郵便局）はなんとなく分る。よく看板に見かける电视は电视（テレビ）、机电产品は機械電気製品のこと。もっと酷いのは工業の工业、髪的发、開閉の開閉、雲の云、雪のヨ、雨冠を全部取ってしまった。切角の漢字文化を放棄するようなものだ。中国当局もその行過ぎを反省して現在ある3000語以上は増やさないようにしたと、ある知識人から聞いた。

物価と生活

次は主にガイドさんから聞いた話。サラリーマンの平均月収は300~500元（日本円で7500~12500円）、しかし、お米は5kg、3.8元、家賃はなんと月5元（日本円換算は25倍にして下さい）一方、今中国で三大元といわれる贅沢品の電気洗濯機は400元、冷蔵庫は2000元、テレビは4000元。ところが最近の新三大元はカラオケ（2000元）、クーラー（5000元）、ビデオ（1万円）となり益々競争が激しくなる。自動車となると西欧車で10万元（250万円）日本車になると30万元（750万円）、とても庶民の手の届く所にはない。しかも、サラリーマンは運転免許が取れないので諦めもつく。

結婚も大変だ、夫婦の年齢が合計で52歳？以上でなければ結婚できない。しかも結婚費用は1万~4万元かかる。披露宴に呼ばれた方も大変だ、ご祝儀は100~300元、給料の大半が飛んでしまう。これも中国人気質か。

どこに行っても子供の数が少ない。これは一人子政策の現れで、これに違反すると会社は首になる。また、どこにいても老人が多い。しかも、昼から公園でトランプや将棋をしてはブラブラしている。定年は男60歳、女50歳、年金は250元位貰える。

おわりに

古くて新しい中国、急速に進む近代化と共に、最近日本化が目立ち始めている。工業化による公害、消費文化によるゴミ公害、拝金主義による人心の乱れ、いずれも日本

の轍を踏まないことを切望する。以上一寸中国人の生活をかい間見た感想を述べてみた。（10月3日）



中国の宝くじ(スピードくじ・賞金1万元?)